

事業名

「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアム

事業の趣旨・目的

関係機関（大学、特別支援学校、社会福祉法人、民間企業、障害者の生涯学習の機会を提供する団体等）が連携コンソーシアムを開催することにより、障害者の生涯学習を支える持続的・総合的なネットワークの構築をめざす。

事業内容

- 「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアムの開催（年3回）
- 調査・実践研究
 - ・障害者の博物館等利用促進に関する調査「ミュージアムインクルージョンプロジェクト」の実施
 - ・身体障害者社会学級（視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者）の開設神戸大学における学ぶ楽しみ発見プログラム（知的障害者）の実施
 - ・県内における「学びの場」についての調査の継続（一覧作成、検索アプリの周知）
- 人材の発掘と育成
 - ・障害者の生涯学習支援に関わる者を対象に、支援経験に応じた研修の実施
- 普及・啓発
 - ・関係団体・支援者・障害者等が参加する「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」の実施（メイン会場とサテライト会場をオンラインでつないで実施）
 - ・支援者向けリーフレットの作成

事業実施体制・連携先

県内大学、県ユニバーサル推進課、学校関係者、公民館関係者、障害福祉サービス等事業所、当事者保護者、当事者等を構成員とする「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアムを設置する。継続した協議を行うため、個人ではなく、組織や団体を構成員とし、事務局を県教育委員会に置く。

今年度の取組状況

- ・障害者の学びの障壁を解消するため、令和3年度に実施したアンケート調査の分析を進め、より障害者の学びたい思いに寄り添った活動を実施
- ・身体障害者社会学級では、青い鳥学級(視覚)8学級、くすの木学級(聴覚・言語)7教室、たけのご学級(肢体)1学級において、障害者本人や、各地域のニーズを踏まえた、効果的な学習プログラムを研究し、講座を実施
- ・障害者の生涯学習を支援する人材を発掘し育成するため、支援経験に応じた内容の研修会を実施
- ・生涯学習推進コーディネーターを中心に、学びの場に関する情報を収集し発信
- ・「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」を実施し、障害者の学びの場づくりに関する好事例の共有を図るとともに、関係者間のネットワークを構築
- ・障害者の博物館等社会教育施設利用促進に関する取組「ミュージアムインクルージョンプロジェクト」の実施

その他研究の詳細など

県教育委員会HPに掲載している取組

学び場検索アプリ

利用者が自らのニーズに応じて活動の場を検索しやすくするための検索アプリを開発

障害の種別にかかわらず情報をより分かりやすく伝えるため、字幕付き活動紹介動画の配信を試行



R4年度リーフレット

障害者の生涯学習を支援する際に参考になる情報を発信



共生社会コンファレンス



第1回障害者の生涯学習支援者研修会

